

【目次】

- 5月の教育相談
- 児童生徒の安全を守るために

+++++

□ 5月の教育相談

+++++

●「あいさつ」の力

子どもたちは教師を見ています。「せんせ〜い！おはよう。」子どもの元気で明るいあいさつひとつで、私たちは何か幸せを感じますよね。子どもたちも同様に、教師に声をかけたときに、何か反応が返って来ることが嬉しいのです。その嬉しさから子どもたちは教師に思わず声をかけたくくなります。教師からあいさつや声かけをし、子どもたちが「先生はいつも気にかけてくれている、いつでも声をかけていいんだ」と感じるような関係を築きましょう。

●スクールソーシャルワーカー(SSW)の活用

例えば、母は知的障がいがあり、体調不良で生活が安定しておらず、子どもは1ヶ月前から欠席や遅刻が目立ち始めたといったケースでは、あなたは、どのようにこの子どもを支援しますか？社会的、家庭的状況で困りを抱えている児童生徒と家族を福祉などの関係機関に繋ぎ支えるための専門スタッフがSSWです。教育相談コーディネーターを窓口にして、SSWの効果的、積極的な活用を心がけましょう。

-----

□ 児童生徒の安全を守るために

-----

●部活動中の事故を防ごう！

各部活動で大会に向けた練習に熱が入ってくる時期です。過度な練習により心配されるのは熱中症をはじめとした重大事故の発生です。絶対に無理は禁物です。その日の環境や生徒の体調、個人の技量等に応じて、適切な休養をとりながら実施を心がけましょう。特にまだ慣れない1年生には配慮が必要です。

●熱中症を予防しましょう！

すでに学校での熱中症による救急搬送が報告されています。まだ体が暑さに慣れていないこの時期は注意が必要です。「栄養バランスのよい食事と十分な睡眠」、「活動前の適度な水分補給」、「行事等では活動時間や内容を考慮し絶対に無理をしない」ことが熱中症予防の基本です。

●出水期に備えましょう！

まもなく梅雨の時季を迎えます。その前に、次のことを確認しておきましょう！

- ①市町村等が作成する最新のハザードマップ等による学校周辺の危険箇所、避難場所等を確認
  - ②登校後、登下校時や在宅時など、時間や場所に応じた避難方法や避難場所などを確認
  - ③災害発生時の児童生徒・保護者や教職員間の連絡方法、保護者との引き渡し方法
- ※ハザードマップを過信せず、刻々と変化する気象状況や交通状況など様々な要因を考慮し、適切に判断し行動する体制を整えましょう！

◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/vdk9zKeA>

◎過去のバックナンバーは以下のURLから御覧いただけます。

<http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/mailmaga.html>

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課 (URL : <http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>)